

## 1.1 本時の活動（第3時）

### (1) 目標

縄文文化と土偶に関するプレゼンテーションの序論を、論理構成や展開を工夫して書いて伝えることができる。

### (2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的な評価規準	評価方法
2分	1 挨拶をし、前時の復習をする。	・前時に読んだ英文が、プレゼンテーションの序論であることを確認する。		
10分	2 優れた序論のモデル文に触れ、どこが優れているか Padlet で意見を共有する。	・序論の書き方に関する生徒の現時点での理解度を、Padlet の書き込みから理解する。		
3分	3 優れた序論に共通しているポイントをペアで考え、Padlet に入力する。	・Padlet の書き込みを全体で共有した後、序論に盛り込むべき内容や論理構成を、教師から指導する。		
5分	4 Padlet に入力された内容を元に、優れた序論のポイントを整理する	・ストーリー、クエスチョン、ユーモアをそれぞれどこにどう加えるかについて考えているかどうか、机間指導して把握する。		
5分	5 教科書 Section 1 の英文を読んで、改善すべき点を個人で考える。			
5分	6 生成 AI によって、英文の改善すべき点が改善されるか、確認する。	・Copilot を活用し、プロンプトも掲示して、生徒に調べさせる。生成 AI の修正だけでは不十分だという点を理解させる。産出された英文の理解に苦労しているようならば、教師の説明を加える。		
10分	7 Section 1 の英文の改作案をグループで考え、序論の改作案を作成し、Padlet に入力する。	・机間指導を行い、改作の進捗度をチェックする。タブレットの使い方にも適宜質問があれば補助する。 ・Padlet をスライドショーモードにして、各グループの回答をシェアする。	知 思 態	Padlet の記載状況
8分	8 全体でグループごとの回答を共有する			
2分	9 序論の書き方についてまとめを聞く。	・序論の論理構成や展開についてまとめる。		